

Title	今口忠政教授退任記念号の刊行にあたって
Sub Title	
Author	金子, 隆(Kaneko, Takashi)
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2014
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.56, No.6 (2014. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	今口忠政教授退任記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20140200--003

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

今口忠政教授退任記念号の刊行にあたって

今口忠政教授は2013年3月31日をもって定年を迎えられ、慶應義塾大学を退任されました。商学会ではこれを記念して『三田商学研究』の一つの号を今口教授退任記念号として刊行する運びとなりました。この機会に今口教授のご功績をあらためてご紹介し、商学会および商学部を代表してご挨拶申し上げます。

今口教授は、1970年3月に神戸商科大学商経学部経営学科を卒業され、同年4月に慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程に進学され、1975年3月に同博士課程を単位取得退学されました。その後、名古屋商科大学商学部専任講師、京都産業大学経営学部助教授、同教授を経て、1997年4月に慶應義塾大学商学部教授に就任され、16年にわたり慶應義塾に多大な貢献をされました。また、1993年には本塾大学より博士（商学）の学位を授与されています。

今口教授のご専門は経営管理論・経営組織論であり、組織の成長・衰退・再生の解明に重点を置いた研究を一貫して行われてきました。組織の衰退からの再生を「企業の保持する組織能力を環境変化に合わせてダイナミックに組み替える能力の再構築」ととらえ直した上で、組織能力をいかにとらえるか、組織能力をどのように再構築するか、どのように再構築した企業ほど業績的に優れているかなどについて、理論研究と実証研究をバランスよく組み合わせる形で、膨大な研究成果を残されました。これらは、『組織の成長と衰退』、『戦略構築と組織設計のマネジメント』、『日本企業の経営革新——事業再構築のマネジメント』など多くの著作によって発表され、学界から高い評価を受けています。また、一連の研究業績が評価され、2011年に義塾賞を受賞されました。

今口教授は、教育面でも商学部に多大な貢献をされました。三田では「経営管理論」を担当され、ご自身の研究成果に裏付けられた説得力ある講義は、多くの受講生を魅了してきました。日吉では1年生を対象に「経営学」を担当され、学問としての経営学の面白さに目覚めさせることを通して、商学部生の基礎固めに貢献されました。さらに、三田の研究会（ゼミ）でも多くの学生を育てられ、その指導を受けた卒業生たちは社会の各分野においてそれぞれ活躍されています。

こうした研究・教育面の業績に加え、塾内にあっては国際センター副所長を長きにわたって務められ、塾における国際交流の促進に大きく貢献されました。また、塾外においては、国際P2M学会理事、文部科学省大学設置分科会専門委員、日本学術振興会科学研究費委員会専門委員などの要職を歴任されました。

個人的なことに話が及んでしまい恐縮ですが、今口先生とは研究室が近いこともあって、よくお話をさせていただきました。常に穏やかな表情で人を包み込むように接してくださり、私など

はずいぶん癒されました。温厚篤実なお人柄は誰もが認めるところであり、決して派手な振る舞いはされませんが、任された仕事はきちんとこなされ、「今口先生に任せておけば大丈夫」という雰囲気が学部内に醸成されていました。

商学部では、今口教授のこれまでのご功績をたたえるべく、2012年12月の教授会で名誉教授の称号を差し上げることを満場一致で決定いたしました。学部を代表して、これまでのご貢献に心から感謝申し上げます。そして、今後益々のご活躍をお祈りするとともに、これからも後進を温かく見守ってくださるようお願い申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。

2013年11月

商学部長 金 子 隆